vol.15

多文化共生レインボー プラス

「サラダボールCo.」「Cerejaカフェ」「愛知華人華僑國際交流會」
「あいうえ Oguchi」「もやい」「まちねっと大口」

多文化共生レインボーとは？

大口町で多文化共生や国際交流に関わる事業をおこなっている団体が集まって結成しています

私たちが住むこのまちには、さまざまな人たちが暮らしています。国籍・文化・習慣や価値観が違う人もいます。それらを認め、尊重しあい、同じ地域の住人として、共に安心して暮らしていける社会。それが「多文化共生社会」です。

令和４年３月現在、大口町には６７６人、町民の2.8％（およそ40人に１人）の外国籍住民が暮らしています。昨年度から感染症の影響で、海外との行き来は減りましたが、今後また外国ルーツの方が増加していくことが予想されます。お互いを尊重し、支え合いながら、暮らしていくことが必要です。

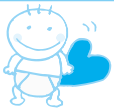
日本語教室 Cereja（セレジャ）カフェ

平成26年から、大口町民活動センターで毎週の活動を継続してきましたが、コロナ禍で活動の休止や時間の変更などがあり、参加者も減っています。思うような活動はできませんが、人と人とのつながりが途切れてしまわないよう、安心してくることができる場所であるために、今後も活動を継続していきます。

開催日　毎週土曜日
午後６時から７時30分

サラダボールCo.

エコキャップ運動



NPO 法人世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄附

【お願い】金属類は入れないでください。シール（キャンペーン用など）をはがし、軽くすすいでください。

自分の周りの人や地域に暮らす外国籍の方、そして世界の誰かのことを考えながら、多文化共生社会を推進し、海外の事情を広く知らせるための国際理解講座などを開催しています。

体験型講座「大口子どもカレッジ２０２１」では、小中学生20名に体験型国際理解講座を開催。飛行機の話や発光実験では、物理現象への洞察力を高め、英語学習やピザ作りでは、上級生が下級生の模範となり相互理解力や主体性を高めました。

愛知華人華僑國際交流會

平成27年の元気なまちづくり助成事業「中日文化交流會」の開催をきっかけに発足。日中友好の懸け橋の役割を果たすべく、文化交流を中心とした活動をおこなっています。

中国の伝統文化である書画や中国料理の得意なメンバーが在籍しており、町内事業で出展もしています。今年もオンラインでの開催となりましたが、名古屋春節祭の運営にも参加しています。

こどもの日本語・学習サポート教室 あいうえOguchi

毎週木曜日、下校から午後5時まで、中学生は午後5時30分まで白山ふれあいの森 会議室で学習しています。

活動も2年目に入り、今年度は小学生7名、中学生3名が参加しています。新型コロナ感染症の防止対策をして夏にはミニ縁日、冬は初詣にお正月遊びと日本ならではの行事も体験しました。体験活動を通し、相互理解を深めています。

まちねっと大口

大口町民活動センターを中心とし、NPO団体のサポートやまちづくりに関わる活動をおこなっています。

平成24年より、多文化共生サポート事業を大口町と主催し、多文化共生レインボーの団体とともに、Cerejaカフェを中心とした多文化共生のまちづくりを進めています。生活に必要な通訳翻訳サポートや、多文化共生に関する相談や各種団体とのコーディネートをおこなっています。

もやい

大口町海外派遣事業経験者のうち、有志のメンバーで構成されました。大口町海外派遣事業の参加者をサポートすることに加え、国際交流や被災地復興支援に関する活動をおこなっています。

現在はコロナ禍で出展できていませんが、町内事業に参加することでまちづくりへの興味関心を高め、未来の大口町の若い力の育成を目指しています。